山江村議会だより

まるおか

No.94

令和5年度決算の認定

令和６年度球磨人吉中体連駅伝競走大会（10月11日）

目　次

○【特集】令和５年度決算 ・・・・・ P2～3
○一般質問 ・・・・・・・・・・・・・・ P4～9
○議会定例会 ・・・・・・・・・・・・ P10～11
○各種研修会 ・・・・・・・・・・・・ P11～12
○編集後記「だんだんなあ」・・・・・ P12

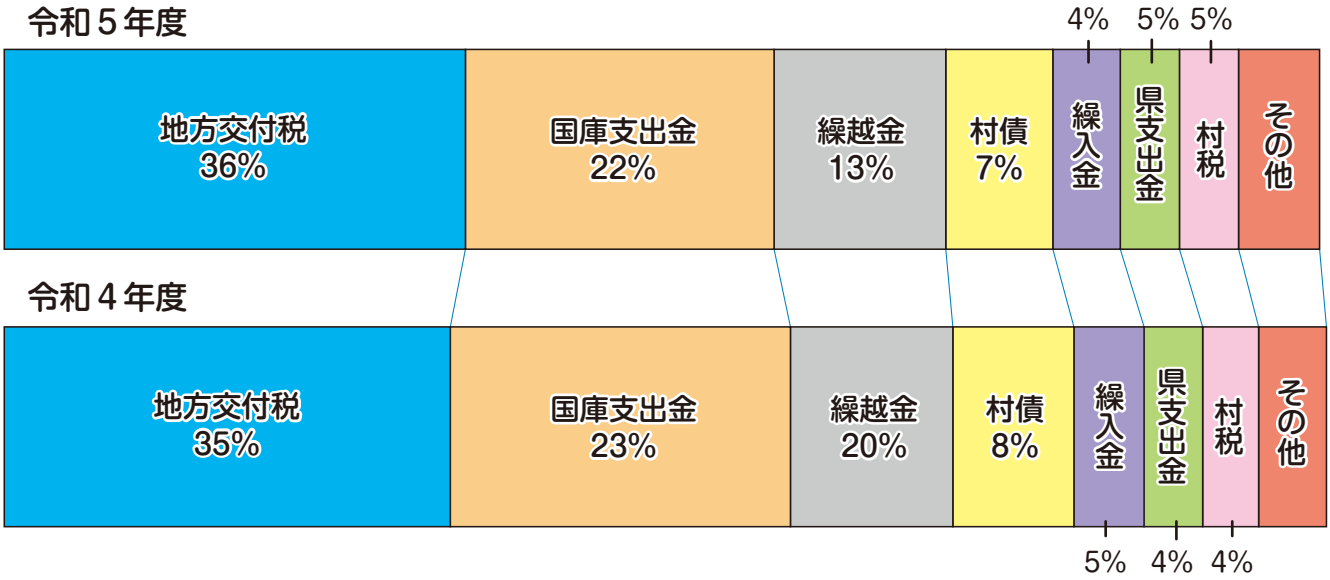
令和６年10月31日発行　発行：山江村議会　　編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1　☎(0966)23-3401　FAX(0966)24-5669　山江村域内電話☎23-3401

【特集】令和５年度決算を認定！

令和６年９月９日から13日まで、山江村議会９月定例会が開催され、その中で令和５年度一般会計及び特別会計決算が認定となり、令和４年度を下回る決算となりました。令和４年度決算との比較をしてみましょう。

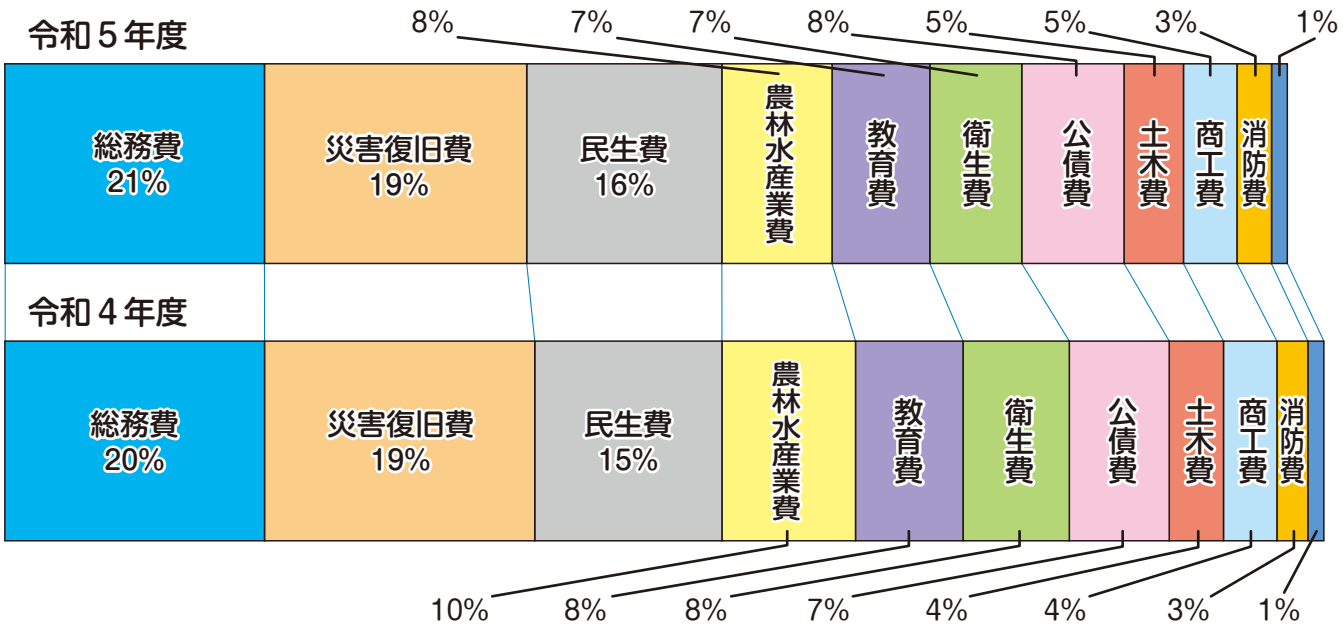
歳入　52億6,321万円



令和４年度の歳入が53億1,495万円でしたので、5,174万円の減となりました。減額の主な要因として、村債の減（昨年度比79.7%）、繰入金の減（昨年度比84.9%）があげられます。主な名称の説明については、以下のとおりです。

項　目	説　明	令和５年度決算額
地方交付税	それぞれの市町村の財政格差を小さくするため、国から支給されるもの。使い道は自由。	19億1,460万円
国庫支出金 県支出金	義務教育や道路整備など特定の費用の一部として、国や県から支給されるもの。使い道が決まっている。	(国)11億5,477万円 (県)　2億5,418万円
村　債	国などからの借入金	3億4,250万円
繰入金	基金（いわゆる預金）等を一部取り崩し、繰り入れるもの。	2億2,983万円

歳出　45億2,427万円



※公債費・・・国などから借入れした分の元利返済金

令和５年度の歳出が45億2,427万円でしたので、１億1,891万円の減となりました。減額の主なものとして、農林水産業費が１億838万円の減（昨年度比77.3%）、教育費が4,453万円の減（昨年度比88.4%）でした。歳入から歳出を差し引くと７億3,895万円（形式収支額）となります。それから翌年度へ繰り越すべき財源（繰越明許等）8,611万円を差し引いた金額６億5,284万円（実質収支）が令和５年度決算となりました。

尚、特別会計の収支については以下の通りです。

会　計	歳　入	歳　出	差　引　額
国民健康保険事業	4億707万円	3億8,785万円	※1,923万円
簡易水道事業	1億3,768万円	1億1,410万円	2,358万円
農業集落排水事業	1億7,096万円	1億3,179万円	3,917万円
介護保険事業	5億5,220万円	4億8,079万円	7,141万円
後期高齢者医療事業	4,664万円	4,471万円	193万円
ケーブルテレビ事業	5,404万円	5,196万円	※207万円

（※四捨五入による誤差が生じる場合があります）

※一般質問の内容は質問した議員の責任により議員の原稿のまま掲載しています

立道　徹 議員

■ 県道相良人吉線について
■ 県道坂本人吉線について
■ 村道涼松横手線について

県道相良人吉線（土砂堆積）について

問

場所は、山江砕石鉱業から上流の大塚養鶏場さん前付近で、道路の山側、法尻に土砂が堆積し、道路幅員も狭くなり、草も生え、毎年6月に実施する美化作業もたいへん苦労していると地元からの声も上がっている。そこで、土砂撤去等の考えはあるのか、（県の方針を）

尾崎方面より（議会中に着工済）

人吉方面より（議会中に着工済）

答　建設課長

速やかに現地状況確認し、早期の土砂撤去を検討する。（県の回答）

県道坂本人吉線について

問

水無出口から熊の原方面ですが、令和2年の災害から4年が経ち、大川内地区の方々も仮設住宅を退去され自宅に帰られています。しかし、生活道路である県道は、工事車両等の影響もあり、かなり、路面が傷んでいる状況である。今後、補修・舗装等の考えはあるのか、（県の方針を）

答　建設課長

県も把握していて、本年10月以降に舗装工事の発注準備を進めている。災害復旧工事施工中であるので、その進捗を踏まえ、実施する。（県の回答）

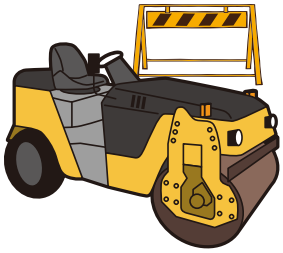
村道涼松横手線について

問

舗装が剥げ、路面が傷んでいる箇所がある。これまで、災害復旧工事車両・木材運搬車両の通行の影響もあると思うが、傷んだ箇所の補修・舗装等の考えはないか。これまで、村道柚木川内日当線も工事で通行できないこともあったので、この村道は通行しやすいような道路にお願いしたい。

答　建設課長

国・県の補助事業や交付金等を活用しながら、補修等を検討していく。



※他に「山江村伝統芸能継続継承について」「特定健診受診率について」質問した

村道涼松横手線　道路路面状況②

村道涼松横手線　道路路面状況①

QR コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

久保山 直巳 議員

■ 井手ノ口地区河川氾濫、越水対策について
■ 命のバトン設置状況について

井手ノ口地区河川氾濫、越水対策について

問

井手ノ口地区、自治会館周辺は、山田川へ西川内川が合流している最も危険と思われる。近年の度重なる豪雨に対応できる河川周辺の越水対策が必要と思われるが、考えを伺う。

増水している井手ノ口地区河川

答 建設課長

十数年前に公民館付近で山田川の水が越水したという情報については既に県に伝えている。まず越水の実態を調査した上で、治水対策や人的被害防止のためのソフト対策など、どのような対策を講じていくべきか、県と連携して検討していきたいと考えている。

高齢者及び独居者の見守り状況について

問

冷房施設のあるクーリングシェルターに指定した施設を一般に開放することが求められている。本村での暑さ対策、自治会館の開放状況と自治会館エアコン使用料の補助が出来ないか伺う。

答 健康福祉課長

地域内での自主的な開放をお願いしたもので開放状況の把握はおこなっていない。またエアコンの使用電気代補助についても自治会、区長に自主的活動をお願いしている。負担増となるようであれば検討していく。

緊急搬送時での医療機関の情報、命のバトン設置状況を伺う。

問

緊急搬送時での医療機関の情報、命のバトン設置状況、及び緊急時に必要な情報を入れたケースを冷蔵庫に保管し万が一のときに備える事業、本村の設置状況及び地区茶話会、ケーブルテレビ等での全体周知できないか伺う。

答 健康福祉課長

令和５年度で、村内１６世帯１２５名のお宅の冷蔵庫または別の場所というところもあるが、バトンを設置している。

実際救急搬送時、活用実績もある。また、周知については社会福祉協議会の事業でもあるので提案の趣旨を繋げて行く。

※他に「過去に発生した豪雨災害について」「特殊詐欺及び終身サポート相談について」質問した

横谷　巡議員

■ 認知症を防ぎ 地域で支える対策を！
■ 村職員の姿勢・挨拶と 接遇態度について

本村の認知症の現状について

問　認知症は、誰もが関わる可能性のある身近な病気であるが、本村の現状は

答　健康福祉課長　認知症と診断をされた方は１１３名、グループホーム等に入所の方が71名、合計１８４名である。

認知症の早期発見予防対策の現状は

問　症状が軽い方、自覚症状のない方の対策は

答　健康福祉課長　早期発見の取組みとして、地域巡回型の介護予防検診の実施、予防については、介護予防、生活支援サービス事業を行っている。

認知症サポーター養成と活動状況は

問　認知症への偏見をなくし、認知症の方と家族を支えるサポーター養成講座の状況は

答　健康福祉課長　小中学校の子ども、地域の方を対象にサポーター養成講座を毎年行い、令和５年度は１０８名の受講実績である。活動状況は、認知症サポーターアクティブチームにより、第７区をモデル地区として協力いただき、これを村全体に広げていきたいと考えている。

第７区認知症サポーター養成講座の一コマ

グループホーム等入所施設の整備は

問　認知症が増えていくなか、認知症の方と家族を支える入所施設の整備の考えは

答　健康福祉課長　第九期高齢者福祉介護保険事業計画の策定委員からも、必要性の意見を頂いており、3年後にグループホーム等の設置を検討したい。

村職員の姿勢・挨拶と接遇、窓口対応は

問　村民から多様に期待される職員として、窓口や庁舎内外で人と接する時の挨拶や接遇態度について再認識する必要があると考えるが

答　総務課長　職員の基本であり、一人の職員のマナーが組織全体の印象に大きな影響を与える。庁舎内外での言動等の自覚、当たり前のことを実践し、気持ちの良い挨拶と接遇、そして声をかけて案内するように心がけたい。職員は住民にサービス提供、対価をいただいているということを再認識し業務に専念していきたい。

QRコードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

北田　愛介 議員

■ 石蔵拠点整備事業の概要は
■ DX推進で村民生活はどう変わる
■ 一丸地区農業用水対応は

石蔵拠点整備事業の目的と効果を問う

問

本年度石蔵拠点整備事業費約7，700万円強が予算化されているが、施設の整備目的と期待される効果を伺う

答 村長

大元は産業振興をやりたい。直売所を作り栗の集出荷をする。その中には民間企業も手を挙げているので、民間の活力も活用しながら産業の振興を図る。そのほか防災の拠点となり得ないか、公園の施設も持ちたい。いろんな情報を発信していきたい。周りには文化施設、高寺院、大王神社など教育文化の拠点として出来ないか。今回GI登録されたやまえ栗をテーマとして拠点整備し、賑わいをつくっていろんな産業振興につながることを目的としている。

問

大きなプロジェクトであり相当の事業費が必要となるが、財源はどうするのか。

答 企画調整課長

土地の造成は起債や基金を活用する。本体工事については、デジタル田園都市国家構想交付金を財源として事業を進める。

DX推進における基本的な考え方を問う

問

本村における業務や村民サービスのデジタル化とその先にあるデジタルトランスフォーメーションの推進において、村民の生活をどう変えていくのか、変わるのか基本的な考え方を伺う

答 村長

学術的とか技術的なものではなくいかにそれを活用して暮らしを便利にするか、村の課題を解決するために活用するかだと思う。山江村としては、村民の方々がICTとかデジタルを活用することによって、この村が住みよい村になっていくことが結論だと思っている。村民の方々がデジタルを活用して地域社会が変わっていくことを目標に推進していく。

デジタルは暮らしをより便利にする道具

問

村のデジタル化DX推進による恩恵を村民誰もが受けられるために、将来的には各家庭にタブレットを配布して活用することも視野に入れるべきではないか。

答 村長

タブレットを使ってもらう効果をしっかり把握しながら検討していくことになる。

一丸地区農業用水問題の対応は

問

一丸地区の農業用水問題について、どのように対応したのか伺う

答 産業振興課長

堰の代表者と事務局で水不足対策について協議を行った。今後地域計画を策定するうえで補助事業が出来ないか検討していく。

白川　俊博 議員

■ 鳥獣類の被害対策
■ 空き家等の現状と対策

鳥獣類が潜む章鹿倉台地

増え続けている空き家

鳥獣類の被害対策は「捕獲」と「防護柵」

問　近年の鳥獣別による捕獲数は。

答　産業振興課長

	R3	R4	R5
シカ	824	968	1043
イノシシ	340	544	270
サル	12	31	17
アナグマ	86	91	87
カラス	5	7	5

【単位：頭・羽】

問　捕獲数が多い、シカ、イノシシの令和5年度行政区別の捕獲数は。（上位の

【シカ】

行政区	捕獲頭数
16区	286
15区	243
12区	190

【イノシシ】

行政区	捕獲頭数
12区	39
16区	39
15区	38
10区	37

答　産業振興課長

問　近年では集落近くの農地まで被害を受けている。電柵や網やテープなどで防除策をとっているが対応に苦慮している。繁殖域が広がる鳥獣保護区といった捕獲規制区域も要因ではないか、本村の保護区など規制されている区域の現状は。

答　産業振興課長

鳥獣保護区の指定はない。銃器使用禁止区域が章鹿倉台地を中心に規制されている。

問　銃器使用禁止区の縮小など部分的な解除は可能か。

答　産業振興課長

規制区域指定を行っている熊本県の判断となる。

また、農作物等被害対策は防護柵等の設置も検討して頂きたい。

空き家の対策は、改修・解体など補助制度の有効活用を

問　近年、空き家の調査は実施されたか現状を伺う。

答　総務課長

令和3年度に調査を実施した。対象182件、居住活用可能124件、居住不可58件、危険空き家55件。

問　空き家等の適正管理に関する条例から改善措置の指導をされたと思うが、近年の対応件数など状況を伺う。

答　総務課長

現在までに延べ13件、個人の財産で権利もあり課題も多い。

問　空き家の有効活用として、空き家土地活用促進事業を進めているが内容を伺う

答　企画調整課長

空き家改修補助の利用は現在までない。土地購入補助は令和元年度に3件実施、空き家解体補助は今年度から、現在4件の相談があっている。

問　空き家は、近隣へ悪影響を与えている敷地内の樹木等の処理への経費助成の考えは。

答　村長

空き家を解体して土地を提供し、新しく家を建てるという空き家のマッチングは非常に難しい。

今年度からの解体への補助制度を呼びかけることを優先的に進める。空き家周辺の除草・樹木の伐採助成等は、次の過程で検討する。

QRコードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。

西　孝恒 議員

■ Ｊアラート発令時国民保護法に基づく村の取り組みについて
■ 役場庁舎の窓口サービスについて

Ｊアラート発令時国民保護法に基づく村の取り組みは如何に

問　Ｊアラートが発令された場合、村民の安全を守るため村ではどのような取り組みをされているか。

答　総務課長　山江村でも「山江村国民保護計画」を作っていて１５０ページ位にわたる。有事の際は住民の生命、身体及び財産を保護する責務がある。Ｊアラートが発令された時はこの計画に基づいて危機感をもって対応している。例えば先月の日向灘地震の際に発令されたが、人的被害を出さないように住民の方へ注意喚起を行い被害の情報収集を行った。

尚、Ｊアラートは有事の際確実な機能が必要なため年４回情報伝達試験を行っている。

問　本村小中学校に於いて子ども達が学校にいる時、また登下校中にＪアラートが発令された場合、どのような行動を取るべきか指導されていることについて。

答　教育長　文部科学省、県教育委員会の通達があるので、それを受け学校に指導の徹底を行っている。学校では危機管理マニュアルを作成し、子ども達へ指導している。

屋内では机の下にもぐるなど徹底していることを感じる。登下校中は近くの家や子ども１１０番の家に避難させてもらう等指導している。低学年は下校時が早いので、地域の力が不可欠と思うご協力を願いたい。最近災害が多発しているので、子ども達を守るため災害訓練や避難行動の指導徹底を行っていきたい。

役場庁舎の窓口サービスとして、総合的な案内や受付の状況は

問　本庁舎へ来庁の方に対する受付対応状況の在り方について。

答　総務課長　来客される方への職員の対応については、窓口職員を中心に積極的に声をかけて案内するように心がけているので総合窓口は設けていない。

問　来庁される方のなかには、不慣れな方や、初心者の方、また村外からも来られると思う。出入口の関係で現在も殆ど健康福祉課の方に受付など難ですが、その付近に案内表示を置く（または掛ける）ことでより優しい雰囲気になるのでは、その点について。

答　総務課長　常に目を配りながら対応を心掛けている。さらに住民サービスの向上と来庁の方に好意をもって頂ける様、再認識し積極的な対応に心がけたい。

案内表示は現在のところ考えていない。

令和６年第５回山江村議会定例会

令和６年９月９日から１３日までの５日間、第５回定例会が開催され、人事案件や決算認定など以下のことが決まりました。

山江村教育委員会委員の任命

氏　名：廣田　昭信 氏
任　期：令和６年１０月１日～令和１０年９月３０日

職務内容

教育委員会は、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理し及びこれを執行する。委員は４人。

専決処分事項の承認

令和６年度山江村一般会計補正予算（第２号）

令和６年７月の大雨による村道の災害復旧について、緊急に予算措置する必要が生じたため以下の通り承認した。

歳入	村　　債	3,500 千円
歳出	災害復旧費	3,500 千円

令和６年度山江村簡易水道事業会計補正予算（第１号）

淡島日暮橋の災害復旧に伴う配水管布設事業を本年８月中に施工する必要が生じたため以下のとおり承認した。

収入	建設改良事業債	1,000 千円
支出	建設改良費	1,000 千円

令和５年度一般会計・特別会計決算の認定

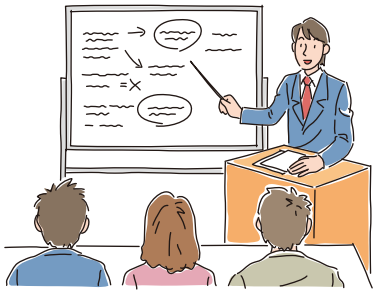
- 一般会計決算
- 国民健康保険事業決算
- 簡易水道事業決算
- 農業集落排水事業決算
- 介護保険事業決算
- 後期高齢者医療事業決算
- ケーブルテレビ事業決算

一般会計補正予算

質　疑	答　弁
西 議員 ○やまえ栗生産向上推進員の報酬、旅費の増額について	**産業振興課長** ○栗の生産状況の調査を委員さんへ同行いただくため、増額した。
○球磨神楽保存補助金の新規計上について	**教育課長** ○令和２年７月豪雨により被災した球磨神楽の衣装新調等に係る補助金。各市町村から補助。
白川 議員 ○給食センター新設検討委員会の報酬、旅費の増額について	**教育課長** ○会議回数を１回増やしたこと、更に委員を１名追加したことにより増額した。

令和６年度町村議会広報研修会

令和６年度町村議会広報研修会が令和６年９月２５日、ニッショーホール（東京都）にて開催されました。読まれる議会広報紙の作り方や、埼玉県寄居町議会における議会広報だよりの作り方など、多岐にわたる講義を受講してきました。



山江村議会だより「まるおか」第94号
発行：山江村議会
編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1
☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669
山江村域内電話 ☎23-3401

議員活動の一コマ

議員研修を行いました

令和６年１０月９日熊本県町村議会議員研修会が行われ、全議員が出席しました。今回は大正大学　江藤俊昭氏を講師に、議会改革による「議員のなり手不足」打開の道～「住民自治の根幹」としての議会の作動～と題し、オンライン形式での講演会でした。

内容は、深刻な議員のなり手不足の現状や、その課題解決の方法、また女性議員を増やすための対策などが話され、これからの議会運営にとって、とても有意義な研修となりました。

だんだんなぁ

今年はオリンピックの年、パリ五輪が開催され日本は45個のメダルを獲得し海外開催で最多獲得だった。近年では勝者だけが注目され優勝者以外は敗者だと言うが、結果だけがすべてだろうか、目標に挑んだ過程は決して無駄にはならず、得られるものは多くあり、その後の人生の糧にもなっていると聞く。

今年も収穫の秋を迎えたが、結果だけにこだわるのが農産物である。

稲作りは夏場の出穂期を迎えるため、高温障害の対策として品種改良などが進められ、どうにか高温にも耐えられるようであるが。

ＧＩ制度登録を受けた特産の“やまえ栗”は、昨年に引き続き収穫量が少なく、猛暑が原因と言われている。近年の温暖化は今後も生育に影響を与えて行くであろう。このような気候変動の中、ある程度高温に強い品種改良も必要ではないか。

毎年収穫する農産物、結果を求めるのは当然であるが、日頃からの生育管理が重要で、その過程が大事であり、それが収穫量と質に繋がるのではないだろうか。

（文　責　白川　俊博）

【山江村議会広報編集特別委員会】
委員長／本田　りか
委　員／白川　俊博
久保山　直巳
北田　愛介